

令和7年度議会広報委員会行政視察研修報告書

- 1 目 的 所管事務調査先進地視察(行政視察)
- 2 実 施 日 令和7年7月24日(木)～25日(金)
- 3 視 察 地 新潟県上越市 山梨県甲斐市
- 4 視察内容 新潟県上越市 『市議会だより「かけはし」と議会広報広聴委員会について』
山梨県甲斐市 『市議会だより「甲斐市議会だより」と各種団体との意見交換会について』
- 5 参 加 者 委 員 長 加藤 誠一
副委員長 大河原 千晶
委 員 福田 克之
委 員 加藤 朋子
委 員 永井 孝叔
委 員 若見 孝信
委 員 石岡 祐二
委 員 角田 憲治
事務局職員 2名

新潟県上越市 『市議会だより「かけはし」と議会広報広聴委員会について』

視察日 令和7年7月24日(木)

1 上越市の概要

県の南西部に位置し、平野部、山間部、海岸部と多様な地形を有する。山間部は全国有数の豪雪地帯。日本有数の穀倉地帯を形成し、コメの収穫量は国内屈指。重要港湾直江津港を擁し、北陸道や上信越道が通る。かつては石油開発で栄え、現在は化学などの基礎素材型産業に加え、半導体素材など電子部品・デバイス産業が集積し、工業出荷額は県下有数。

人口 184,941人 面積 973.89km²
議員定数 32人

2 視察内容

じょうえつ市議会だより「かけはし」は、市民の目を引く表紙や、余白を活用し雑誌のような洗練された紙面構成となっている。紙面構成の割振りや編集作業の過程について調査を行った。

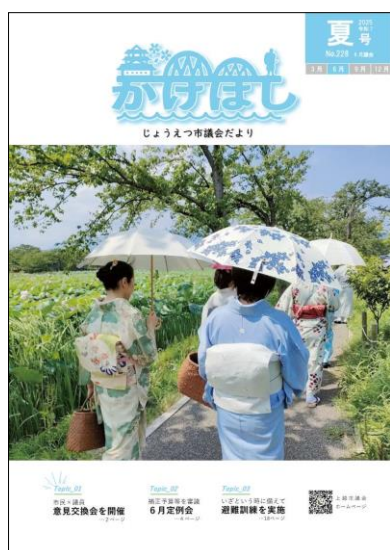
また上越市議会広報広聴委員会では、「議会だより」「議会報告会・意見交換会」「小中学生の議会学習」「ホームページ等を活用したSNS発信」「議員と気軽にトーク」など幅広い活動を行っている。

当市議会では今年度、広報委員会から広報広聴委員会へ移行するため、今後の活動の参考とするため先進地の広報広聴活動について視察を行った。

3 所感

市民に来てもらう「ご意見を聞く会」と、議員が出向く「議員と気軽にトーク」の二本立て公聴を実施し、頂いた意見を3パターンに分けて対応している手法が大変参考になった。また、議会報告会でいただいた意見の取り扱いをどうするかを今後検討すべきと感じた。

主権者教育やファシリテーター研修の重要性も感じた。



山梨県甲斐市 『市議会だより「甲斐市議会だより」と各種団体との意見交換会について』

視察日 令和7年7月25日（金）

1 甲斐市の概要

甲府盆地の中西部に位置。2004年に3町が合併して発足した人口県内第2の都市。地形は南北に細長く、南部は住宅地と農地が混在する平坦な地域で、北部は昇仙峡などの景勝地がある山岳地域。近年、隣接する甲府市のベッドタウンとして

人口は増加傾向。農業はブドウなどの果樹栽培やコメが中心。

人口 76,598人 面積 71.95km²
議員定数 19人

2 視察内容

「甲斐市議会だより」は大きくてわかりやすいタイトルや、様々な大きさの写真を活用した、すっきりとした読みやすい紙面構成となっている。さらに、特集「輝く仲間たち」で毎号市内の活動団体をPRしている。

議会だよりの編集作業過程や、特集「輝く仲間たち」の団体への取材方法・記事の作成方法について視察を行った。

また、「常任委員会と各種団体との意見交換会」についても、テーマの決め方や活動状況について今後の活動の参考とするため視察を行った。

3 所感

議会だよりの団体紹介「輝く仲間たち」の充実が素晴らしかった。

5年連続コンクールで評価された実績と入賞の際の講評をすぐさま改善して紙面に反映するという、前向きな取り組みに感銘を受けた。

また、有料広告を採用しており今後の検討課題と感じた。

広聴活動として、団体との意見交換会も今後取り入れたいと感じた。



研修を振り返って

どちらの自治体も、議会だよりの配布方法は課題で、自治会や行政区に入っていない人には配りきれないのが現状である。

限られた予算とメンバーであるので、今回学んだことをさくら市議会広報委員会に活かしていきたい。